

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公開番号】特開2010-167420(P2010-167420A)

【公開日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2010-107972(P2010-107972)

【国際特許分類】

**B 0 1 D 63/12 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 D 63/12

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月28日(2012.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

分離膜、原水流路材及び透過水流路材がスパイラル状に巻回されてなるスパイラル巻体の外周に外側シェルが設けられると共にスパイラル巻体及び外側シェルの端部にテレスコープ防止板が配設された構造を有し、圧力容器内に直列に複数装填して使用される流体分離素子において、テレスコープ防止板の外周環部の外周面にブラインシール装着用凹部があり、流体分離素子内の原水流路と、流体分離素子と圧力容器との間の隙間とを連通させる通路として、下流側のテレスコープ防止板の外周環部に孔が設けられ、かつ、上流側のテレスコープ防止板のブラインシール装着用凹部より下流側にも上流側テレスコープ防止板の直近下流の外側シェルにも孔が設けられていないことを特徴とする流体分離素子。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

上記目的を達成するため、本発明の流体分離素子は以下の構成からなる。すなわち、

(1) 分離膜、原水流路材及び透過水流路材がスパイラル状に巻回されてなるスパイラル巻体の外周に外側シェルが設けられると共にスパイラル巻体及び外側シェルの端部にテレスコープ防止板が配設された構造を有し、圧力容器内に直列に複数装填して使用される流体分離素子において、テレスコープ防止板の外周環部の外周面にブラインシール装着用凹部があり、流体分離素子内の原水流路と、流体分離素子と圧力容器との間の隙間とを連通させる通路として、下流側のテレスコープ防止板の外周環部に孔が設けられ、かつ、上流側のテレスコープ防止板のブラインシール装着用凹部より下流側にも上流側テレスコープ防止板の直近下流の外側シェルにも孔が設けられていないことを特徴とする流体分離素子。

(2) 下流側のテレスコープ防止板の外周面にブラインシールが装着されていない上記(1)記載の流体分離素子。